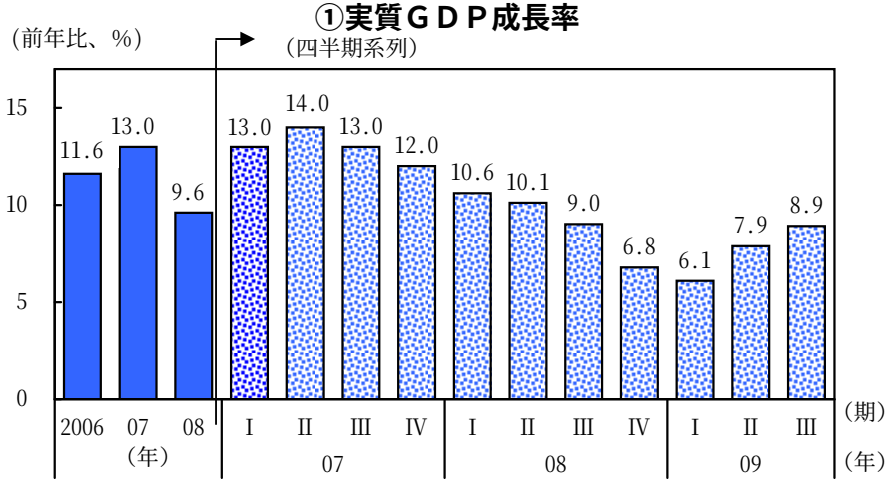
２．アジア地域

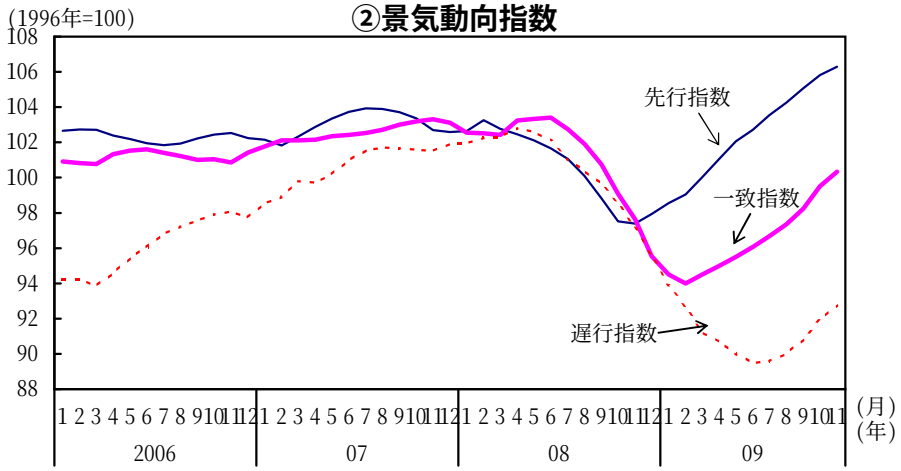
中国：○中国では、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に回復している。
○先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、回復傾向が続くと見込まれる。
ただし、マネーサプライの急増によるリスクには留意する必要がある。

①実質ＧＤＰ成長率



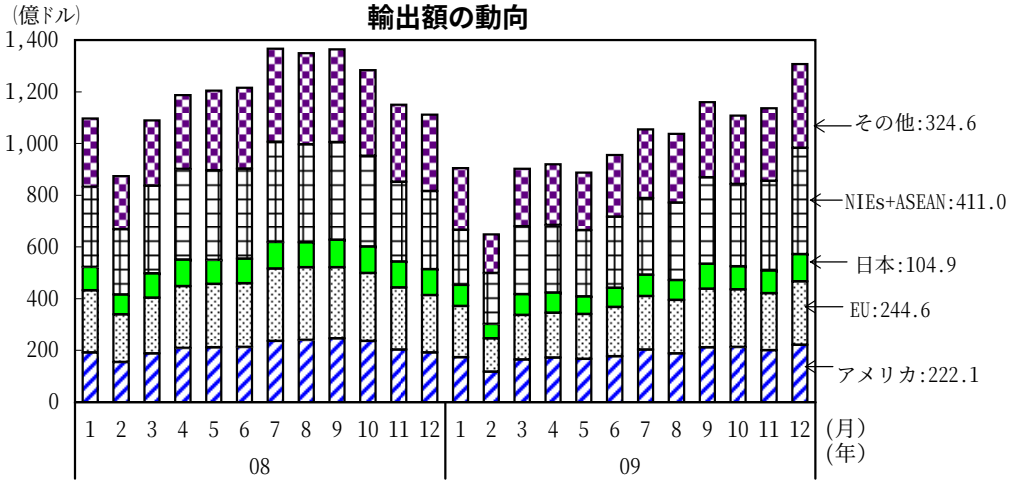
（備考）1. 中国国家統計局より作成。
2. 中国人民銀行の試算によると、中国の前期比年率のＧＤＰ成長率は、08年10-12月期3.7%、09年1-3月期8.5%、4－6月期14.9%、7-9月期8.7%。

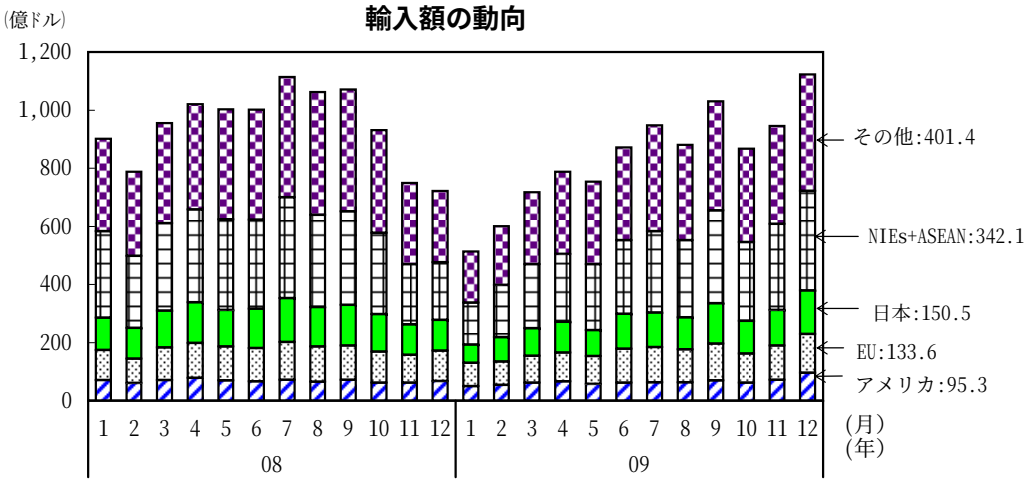
②景気動向指数



（備考）1. 中国国家統計局より作成。
2. 一致指数は鉱工業生産等の８指標、先行指数は消費者期待指数等の８指標、遅行指数は個人預金残高等の５指標から構成されている。

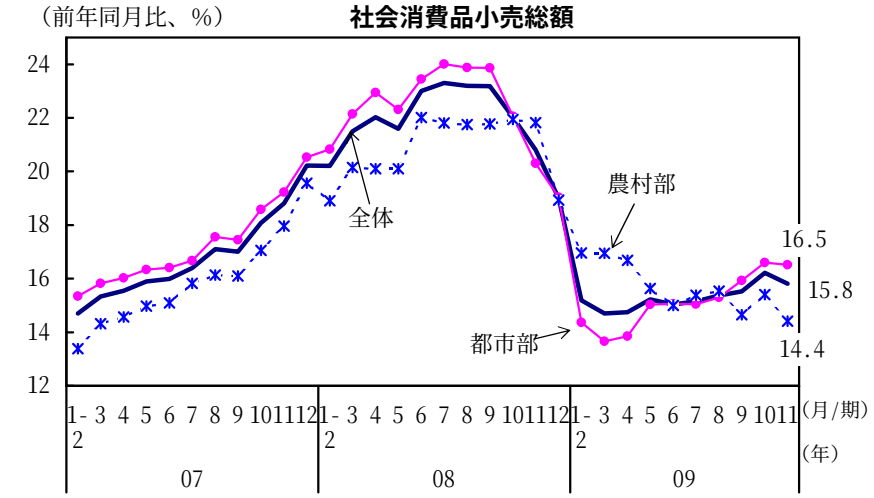
③輸出は持ち直している



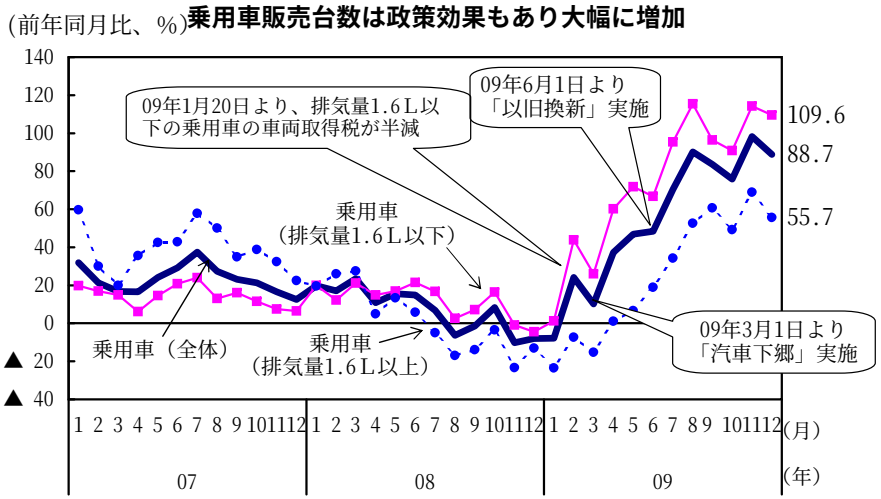


（備考）1. 中国海関総署より作成。
2. グラフは原数値。

④消費は堅調に増加

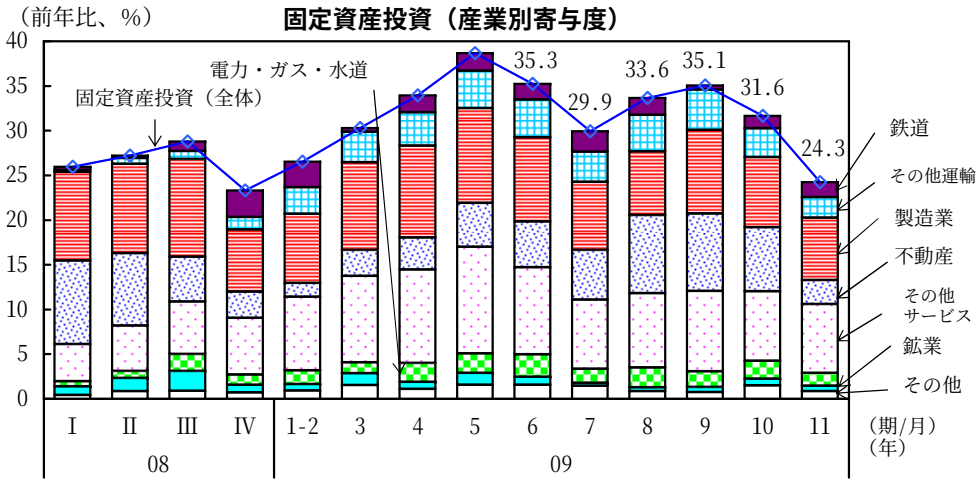


（備考）1.中国国家統計局より作成。
2.08年のシェアは、都市部68%、農村部32%。
3.中国では、消費刺激策として、排気量1.6ｌ以下の乗用車の車両取得税の減税（09年１月～10%→５%、なお10年１月からは7.5%）、農村における家電の普及政策（「家電下郷」）の全国展開（09年２月～）、農村における自動車の普及政策（「汽車下郷」）（09年３月～）を実施している。さらに、09年６月から、自動車の買換え促進策や、９省・市において試験的に家電の買換え促進策を実施している（「以旧換新」）。

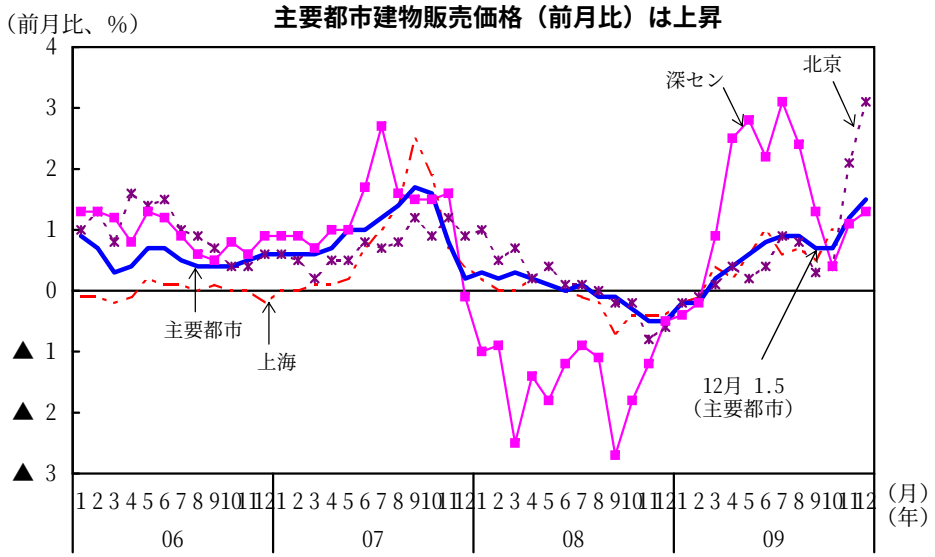


（備考）中国汽車工業協会より作成。

⑤固定資産投資は高い伸びが続いている

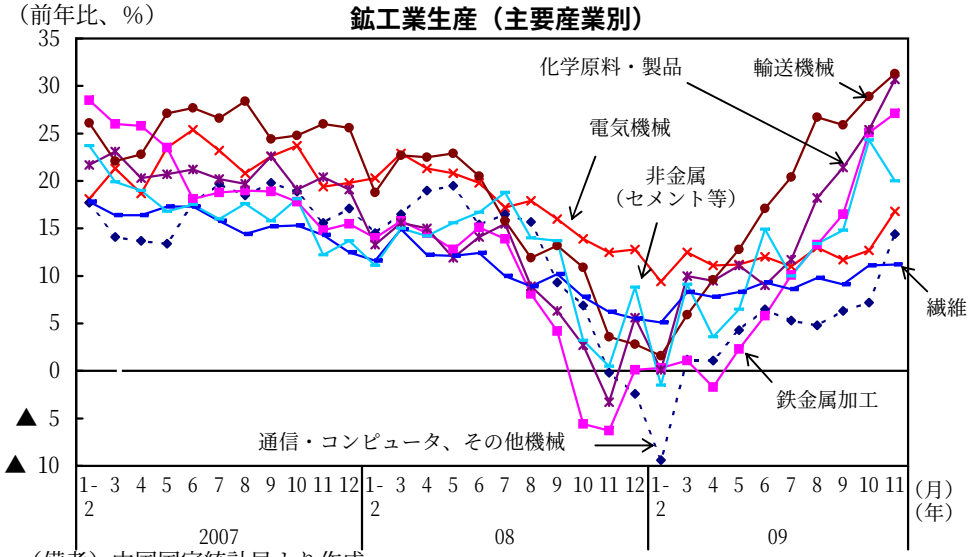


（備考）1. 中国国家統計局「都市部固定資産投資」より作成。
2. 県以上のレベルの政府機関、企業等によって実施される投資プロジェクトで、中国全体における固定資産投資の86%（08年）を占める。
3. 09年11月の不動産開発投資については、土地購入費に関する統計の変更が行われた。



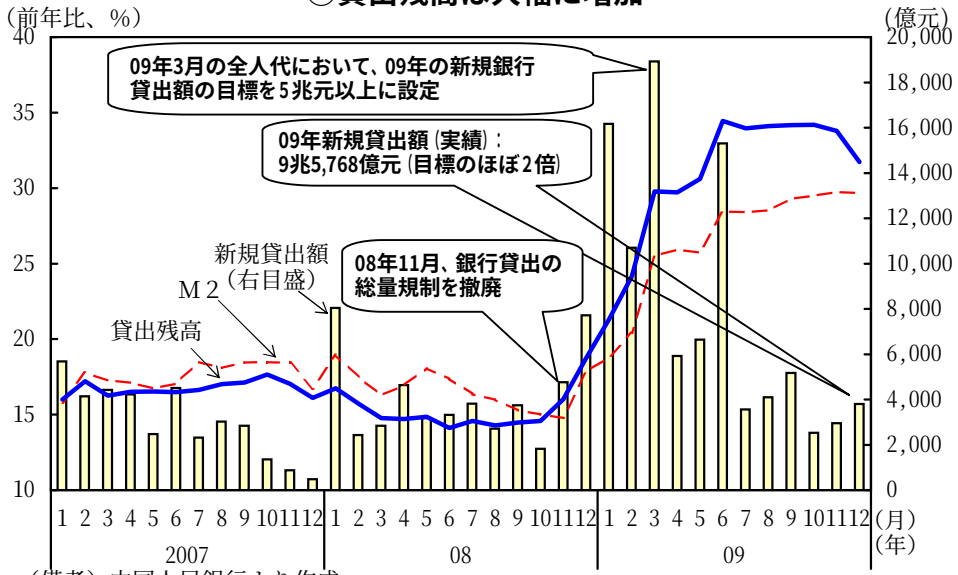
（備考）中国国家統計局より作成。

⑥生産は増加している



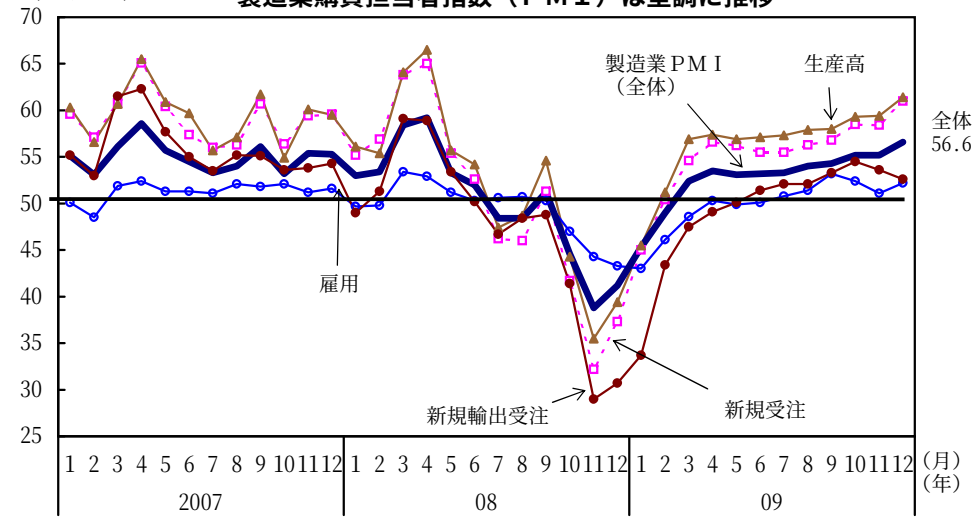
（備考）中国国家統計局より作成。

⑦貸出残高は大幅に増加



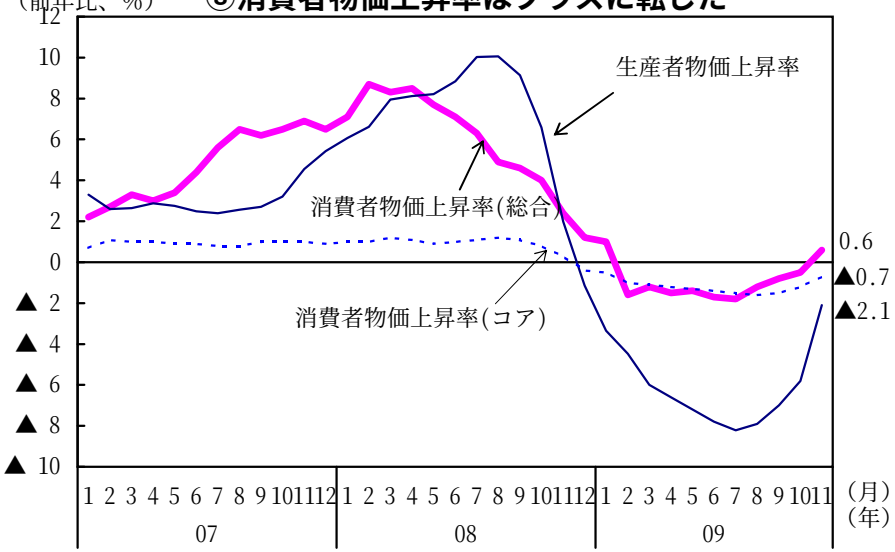
（備考）中国人民銀行より作成。

製造業購買担当者指数（ＰＭＩ）は堅調に推移



（備考）1. 中国国家統計局より作成。
2. 製造業ＰＭＩは、製造業の業況に関わる11の項目について企業調査を行い、各々が前月に比べてどう変わったのかを集計したもの。製造業ＰＭＩ（全体）は、生産高、新規受注、原材料在庫、雇用、サプライヤー納期の５つの指標から合成される。ＰＭＩが50より高ければ、「改善/増加」と回答した企業の割合が多いことを表す。

⑧消費者物価上昇率はプラスに転じた

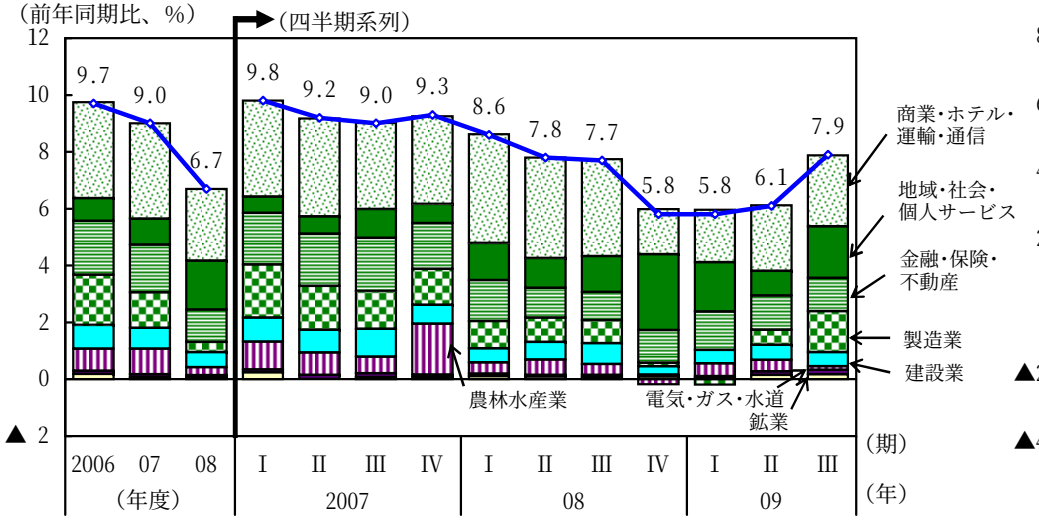


（備考）中国国家統計局より作成。

インド：

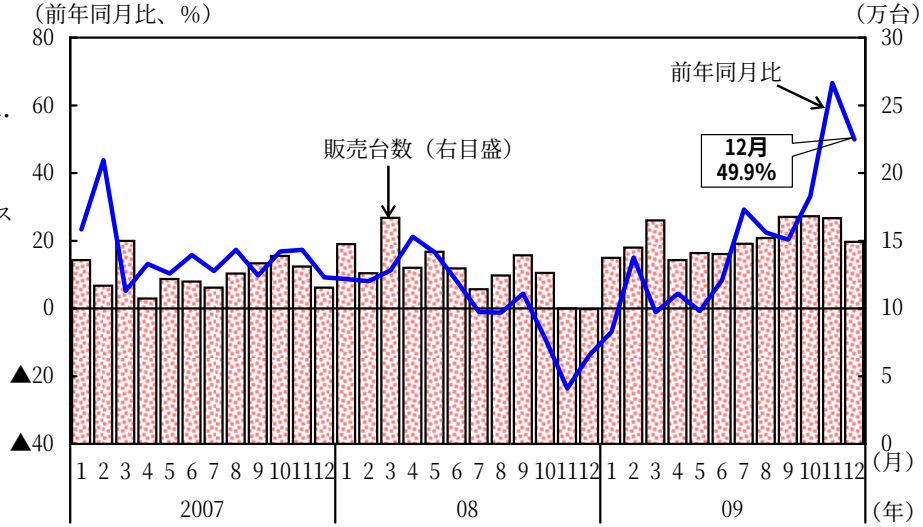
○インドでは、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に回復している。
○先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、回復傾向が続くと見込まれる。
ただし、農業生産の減少により、景気が下押しされるリスクがある。

①実質ＧＤＰ成長率



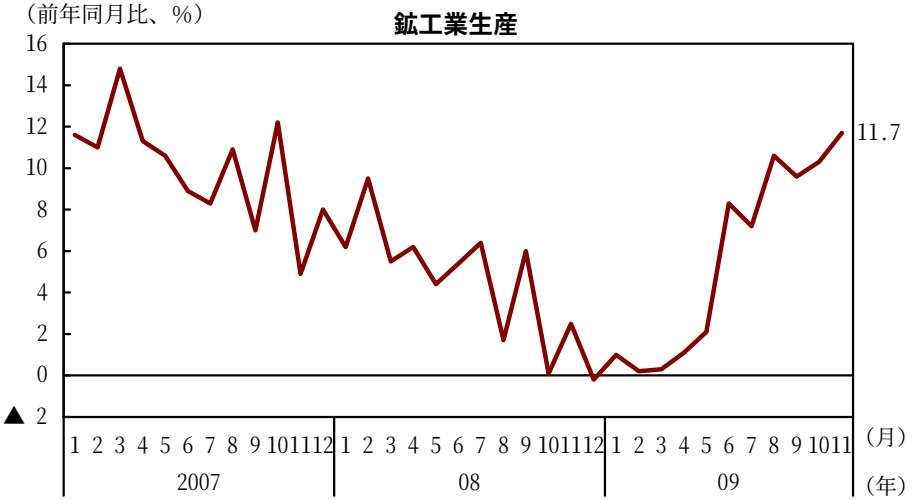
（備考）1. 中央統計局より作成。
2. 年度は財政年度（４月～翌年３月）による。

③国内乗用車販売は増加



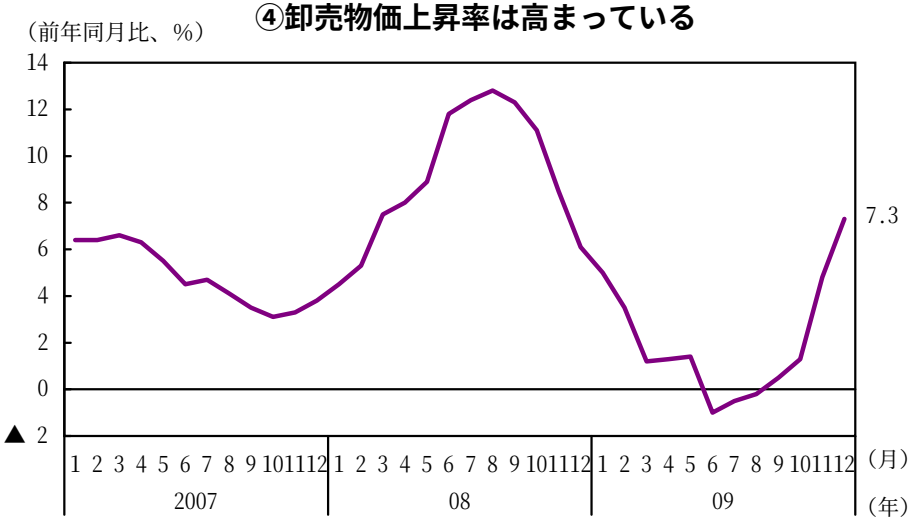
（備考）インド自動車工業会（ＳＩＡＭ）より作成。

②生産は増加している



（備考）中央統計局より作成。

④卸売物価上昇率は高まっている



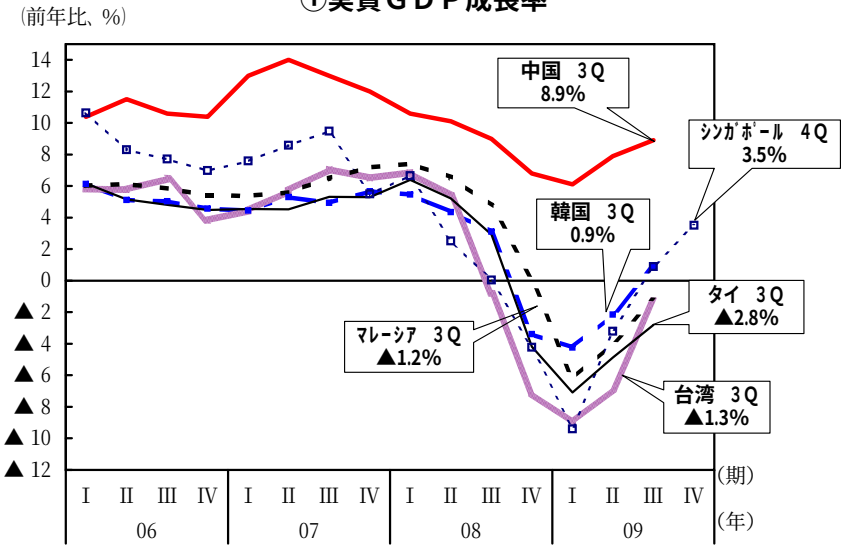
（備考）1. 商工省より作成。
2. 卸売物価上昇率はインド政府・金融当局が最も重視する物価指標。

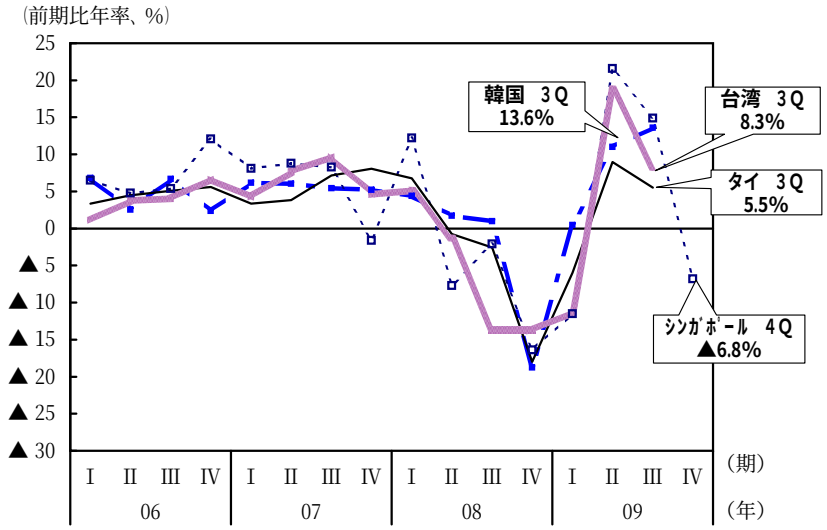
その他アジア地域：

○その他アジア地域では、景気刺激策の効果や中国向け輸出の増加もあり、総じて景気は回復しつつある。

○先行きについては、引き続き中国向けの輸出が堅調に推移するとみられること等から、回復傾向が続くと見込まれる。ただし、欧米等先進国向けの輸出の低迷が続くこと等により、本格的な回復が遅れるリスクがある。

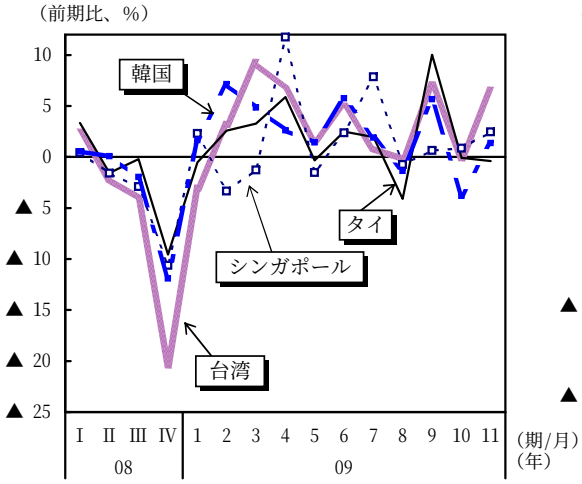
①実質ＧＤＰ成長率

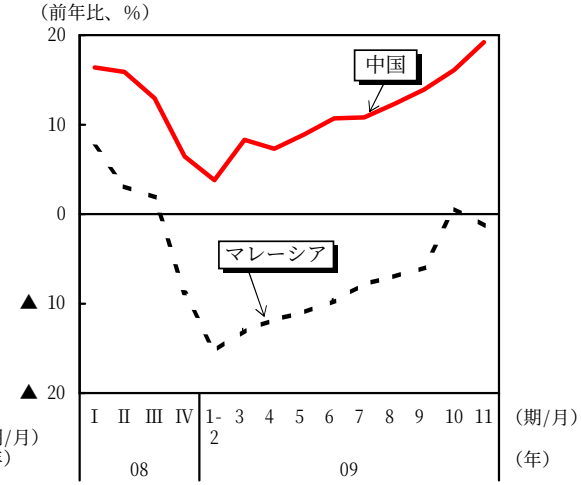




（備考）1. 各国・地域統計より作成。
2. 中国人民銀行の試算によると、中国の前期比年率のＧＤＰ成長率は、08年10－12月期3.7%、09年1－3月期8.5%、4－6月期14.9%、7－9月期8.7%。

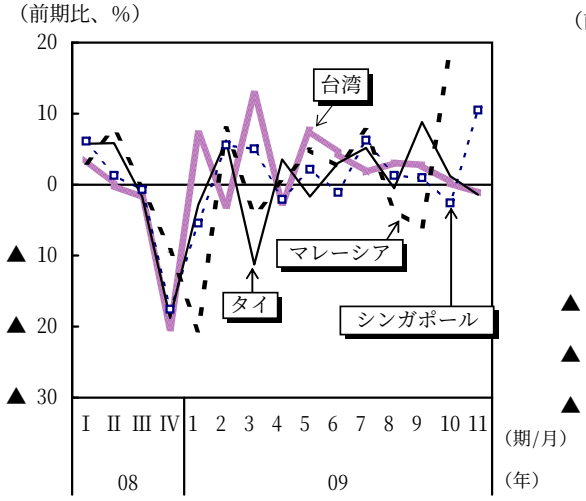
②鉱工業生産：増加している

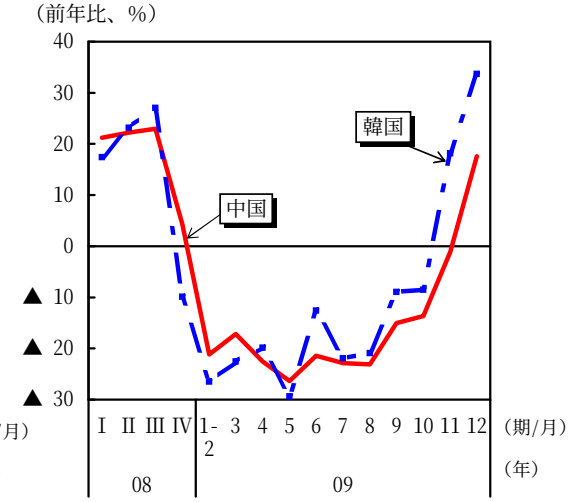




（備考）1.各国・地域統計より作成。
2.シンガポール及びタイは製造業の数値。ただし、シンガポールは振れが大きいバイオ・メディカルを除いたもの。

③輸出：持ち直し





（備考）1.各国・地域統計より作成。
2.前期比は自国通貨ベース、タイは米ドルベースの伸び率。前年同期比は米ドルベースの伸び率。